

平成 26 度日本医学会の活動

高久 史麿

Fumimaro Takaku
日本医学会会長

1. 日本医学会総会

1) 第 29 回日本医学会総会 2015 関西の準備

「医学と医療の革新を目指して－健康社会を共に生きるきずなの構築－」をメインテーマとした「第 29 回日本医学会総会 2015 関西」の準備としては、組織委員会のもと、各委員会を招集し、討議を重ね、2015 年 1 月現在、概要は下記のとおりである。

1. 学術講演関係

・開／閉会講演、特別講演／特別企画について、以下の通り決定した。

①開会講演『iPS 細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み』

座 長：副会頭 平野 俊夫先生

演 者：山中 伸弥先生

②会頭講演『日本の未来のために、いま医学・医療は何をなすべきか』

座 長：日本医学会長 高久 史麿先生

演 者：会頭 井村 裕夫先生

③日本医師会長講演『日本医師会の医療政策～健康な高齢社会の構築を目指して～』

座 長：副会頭 山岸 久一先生

演 者：日本医師会会長 横倉 義武先生

④日本医学会長講演『わが国の臨床医学研

究の方向』

座 長：副会頭 森 洋一先生

演 者：日本医学会長 高久 史麿先生

⑤記念講演『日本における高齢化と真の健康社会』

座 長：副会頭 高井 義美先生

演 者：日野原 重明先生

⑥閉会講演『医学と倫理－『利他の心』で世のため人のために尽くす－』

座 長：会頭 井村 裕夫先生

演 者：稲盛 和夫氏

⑦特別企画

(1)「地域包括ケアと医師の使命」

(2)「勤務医と地域医療連携」

(3)「皆でつくる健康社会」

(4)「健康社会を支える医と産業の新しい連携～新医療時代の開花に向けて～」

・会場は、国立京都国際会館／グランドプリンスホテル京都／京都大学百周年時計台記念館／京都劇場の 4 施設 23 会場を利用する。

・プレイベント企画として以下イベントを開催した。

①医療チーム 学生フォーラム

8 月 18 - 20 日 高野山夏合宿

11 月 30 日 分科会

②近畿医師会連合プレイベント

9 月 7 日 (日) 奈良県医師会

『奈良県医師会と第 29 回日本医学会総会
2015 関西との共催シンポジウム』
9 月 28 日（日） 京都府医師会
『第 40 回京都医学会』
10 月 19 日（日） 兵庫県医師会
『第 67 回兵庫県医師会医学会』
11 月 9 日（日） 大阪府医師会
『平成 26 年度（第 38 回）大阪府医師会
医学会総会』
12 月 20 日（土） 滋賀府医師会
『第 31 回滋賀医学会総会』

2. 展示関係

- ・ 学術展示については、以下 4 つのテーマ展
示をもとに企画立案した。
- ①きずなと見守りの刷新－近未来のかかり
つけ医
- ②IT がもたらす情報化社会の新たな医療
環境
- ③ロボットテクノロジーによる機能再生医
療の最先端
- ④iPS 細胞で臨床現場はこう変わる
- ・ 一般公開展示“未来医 XPO'15”については、
4 つのアイランド（スマート、メディカル、
サイエンス、ヘルスケア）において、展示
や講演等詳細を策定した。また、「ポート
アイランドサイエンスツアー」や「災害・
救急医療展示」「疾患啓発セミナー」等も
実施予定。
- ・ 医学史展については、テーマを「医は意な
る～命をまもる知のあゆみ～」とし、展示
パネルの作成や図録の編集作業を行った。

3. その他

- ・ 事前参加登録の促進を目的とし、各都道府
県医師会や地区医師会を訪問。
- ・ 総会告知のため、「総会ガイド」や「医総
会ナビ」を発刊。
- ・ 宿泊ホテルおよびツアーの申込受付。
- ・ 市民参加イベント「医総会 WEEK」のプ
ログラム策定。

4. 事務局

「第 29 回日本医学会総会 2015 関西」組織委
員会事務局
〒606－8507 京都府京都市左京区聖護院
川原町 54
京都大学医学部附属病院 北病棟 7 階 呼吸
器内科内
Tel/Fax：075-752-6025
E-mail：jimukyoku@isoukai2015.jp
URL：http://www.isoukai2015.jp/
事務局長：中村 泰三

2. 日本医学会幹事会

第 11 回日本医学会幹事会を、平成 27 年 2 月
18 日（水）に開催。主な議題は、「平成 26 年
度日本医学会年次報告」、「平成 27 年度日本医
学会事業計画」、「日本医学会新規加盟学会」等
である。

3. 日本医学会定例評議員会

第 82 回日本医学会定例評議員会を、平成 27
年 2 月 18 日（水）に開催。主な議題は、「平成
26 年度日本医学会年次報告」、「平成 27 年度日
本医学会事業計画」、「日本医学会新規加盟学会」
等である。

4. 日本医学会シンポジウム

1) 日本医学会シンポジウム

- 日本医学会特別シンポジウム（第 29 回日本
医学会総会 2015 関西プレイベント）
日本医学会特別シンポジウムは、「健康社会
をめざす医学・医療の新たな展開」をテーマに

平成 26 年 7 月 10 日（木），グランフロント大阪 ナレッジシアターにて開催した。参加者数：128 名。

●日本医師会・日本医学会合同シンポジウム

日本医師会・日本医学会合同シンポジウムは、「子宮頸がんワクチンについて考える」をテーマに平成 26 年 12 月 10 日（水），日本医師会館大講堂にて開催した。参加者数：289 名。

●第 146 回日本医学会シンポジウム

第 146 回日本医学会シンポジウムは、「がんの非侵襲的診断法の最前線」をテーマに平成 26 年 12 月 18 日（木），日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員：坂元亨宇（慶應義塾大学医学部・病理学），西尾和人（近畿大学医学部・ゲノム生物学），藤井博史（国立がん研究センター東病院・機能診断開発分野），参加者数：188 名。

2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

標記委員会（委員：栗原裕基，坂元亨宇，小室一成，前原喜彦，武林 亨）は，日本医学会シンポジウムの基本方針，テーマおよび組織委員について，企画構成を行う。今年度は，次のとおり 2 回開催した。

第 21 回委員会（平成 26 年 5 月 14 日）において，第 146 回シンポジウムのテーマを決定した。

第 22 回委員会（平成 26 年 11 月 19 日）において，第 147 回シンポジウムのテーマを決定した。

3) 日本医学会シンポジウム記録（DVD）

「日本医師会・日本医学会合同シンポジウム」，「第 146 回日本医学会シンポジウム」の全容を，DVD に制作し，関係各位に謹呈した。

また，DVD の内容は，日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」の項で映像配信した（URL：<http://jams.med.or.jp/>）。

要旨は，日本医師会雑誌に次のとおり掲載した。日本医学会特別シンポジウム「健康社会をめざす医学・医療の新たな展開」：第 143 巻第

7 号（平成 26 年 10 月号），第 146 回シンポジウム「がんの非侵襲的診断法の最前線」：第 143 巻第 12 号（平成 27 年 3 月号）

5. 日本医学会公開フォーラム

1) 日本医学会公開フォーラム

日本医学会では，市民を対象にした公開フォーラムを次のとおり 2 回開催した。

●第 17 回日本医学会公開フォーラム

第 17 回日本医学会公開フォーラムは，「肺がん—最新のトピックス—」をテーマに平成 26 年 6 月 21 日（土），日本医師会館大講堂にて開催した。組織委員長：中川 健（がん研究会有明病院名誉院長），参加者数：245 名。

●日本医学会特別公開フォーラム～第 29 回日本医学会総会 2015 関西プレイベント～

日本医学会特別公開フォーラム～第 29 回日本医学会総会 2015 関西プレイベント～は，「いのちを考える」をテーマに，平成 27 年 2 月 7 日（土），京都劇場（京都駅隣接）にて，開催した。総合司会：高橋良輔（第 29 回日本医学会総会 2015 関西プログラム委員長／京都大学大学院医学研究科臨床神経学教授），参加者数：296 名。

2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会

日本医学会公開フォーラム企画委員会（委員：跡見 裕，池田康夫，南 砂，小森 貴）は，日本医学会公開フォーラムの基本方針，テーマおよび組織委員について，企画構成を行う。今年度は，次のとおり 2 回開催した。

第 18 回委員会（平成 26 年 5 月 14 日）において，日本医学会特別公開フォーラム～第 29 回日本医学会総会 2015 関西プレイベント～のテーマと総合司会を決定した。

第 19 回委員会（平成 26 年 11 月 19 日）において，第 18 回日本医学会公開フォーラムのテーマと組織委員長を決定した。

3) 日本医学会公開フォーラム記録 (DVD)

「第17回日本医学会公開フォーラム：肺がん—最新のトピックス—」「日本医学会特別公開フォーラム～第29回日本医学会総会 2015 関西イベント～いのちを考える」のフォーラムの全容を、DVDに制作し、関係各位に謹呈した。

また、DVDの内容は、日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」の項で映像配信した (URL: <http://jams.med.or.jp/>)。

6. 日本医学会医学用語管理委員会

日本医学会医学用語管理委員会は、委員長：脊山洋右 (医学中央雑誌刊行会理事長)、副委員長：大江和彦 (東京大学大学院教授)、小野木雄三 (国際医療福祉大学三田病院教授)、河原和夫 (東京医科歯科大学大学院教授)、坂井建雄 (順天堂大学大学院教授)、清水英佑 (中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター所長)、田中牧郎 (国立国語研究所准教授)、辻 省次 (東京大学大学院教授)、森内浩幸 (長崎大学大学院教授)、山口 巖 (茨城県総合健診協会会長)、山口俊晴 (癌研有明病院副院長) の11名で構成。

本年度は以下のように3回開催した。第9回医学用語管理委員会 (平成26年7月24日開催) 第10回医学用語管理委員会 (平成26年11月4日開催) 第11回医学用語管理委員会 (平成26年12月19日開催)

7. 日本医学会分科会用語委員会

平成26年度日本医学会分科会用語委員会を12月19日に開催した。主な議題は、1. 疾病、傷害及び死因分類の改正とWHOにおける国際統計分類の検討状況について、2. 日本医学会

医学用語辞典改訂について、3. 「奇形」という医学用語を考える、4. 電子カルテ用標準病名マスターについての報告、5. 神経疾患における用語統一に向けての課題、6. 質疑応答等である。

8. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞 選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は平成26年9月3日 (水) に開催した。

委員構成は会長・副会長・幹事を中心に構成。これに特例委員として、小川 聡 (国際医療福祉大学三田病院病院長)、秋澤忠男 (昭和大学客員教授)、辻 省次 (東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻長)、中村耕三 (国立障害者リハビリテーションセンター総長)、高橋 浩 (日本医科大学大学院教授)、堀江重郎 (順天堂大学医学部教授)、の6氏が加わった。

結果は、次のとおり医学賞3名、医学研究奨励賞14名が選考され、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文を日本医師会雑誌 (第143巻第9号) に掲載した。

●平成26年度日本医師会医学賞

- ・ピロリ菌による胃癌発症の分子機構
畠山 昌則 (東大・微生物学)
- ・癌の分子標的予防法の確立とその応用に向けての研究
酒井敏行 (京府医大・分子標的癌予防医学)
- ・自己免疫疾患に対する分子生物学的解析／
山本一彦 (東大・アレルギー・リウマチ学)

●平成26年度日本医師会医学研究奨励賞

- ・中枢神経・肝臓クロストークの分子メカニズムの解明
井上 啓 (金沢大・肝インターフェースメ

ディシン研究センター)

- ・筋萎縮性側索硬化症の新規モデル動物作成
による発症病態の解明
河原行郎 (阪大・神経遺伝子学)
- ・癌細胞特異的な TGF- β シグナル伝達制御
機構の統合的同定解析
鯉沼代造 (東大・分子病理学)
- ・癌上皮間葉移行における microRNA 転写
機構の解明
水口義昭 (日医大・消化器外科学)
- ・下部尿路機能障害における全身および局所
血流障害からみた病態解明と臨床応用
松本成史 (旭川医大・腎泌尿器外科学)
- ・滲出型加齢黄斑変性の発症, 進展における
全身的因子の解析
柳 靖雄 (東大・眼科学)
- ・超高齢化社会における失明予防のための緑
内障ビックデータによるデータマイニング
中澤 徹 (東北大・眼科学)
- ・遺伝性不整脈の新たな原因遺伝子と機序の
解明ならびに個別化療法の確立
渡部 裕 (新潟大・循環器内科学)
- ・心筋症の発症・進展における樹状細胞の意
義
安斉俊久 (国立循環器病研究センター)
- ・思春期特発性側弯症に対する次世代型 3 次
元変形矯正固定術: アナトミカル・ロッド
を用いたオーダーメイド外科治療への展開
須藤英毅 (北大・脊椎・脊髄先端医学)
- ・内耳再生医療をめざした内耳薬物動態の解
明
神崎 晶 (慶大・耳鼻咽喉科学)
- ・ヒト人工多機能幹細胞由来心筋細胞
Extracellular matrix (ECM) グラフトを
用いた心不全治療の開発
宮城泰雄 (日医大・心臓血管外科学)
- ・増殖因子と細胞内シグナル制御による糖尿
病網膜症の病的血管の再生治療
鈴間 潔 (長崎大・眼科学)
- ・ヒト無精子症の病態解明および臨床医学へ
の応用

宮本敏伸 (旭川医大・産婦人科学)

9. 日本医学会加盟検討委員会

日本医学会加盟検討委員会の委員は, 委員長:
久道 茂 (日本医学会副会長/宮城県対がん協
会会長), 委員: 佐谷秀行 (慶應義塾大学医学
部教授), 深山正久 (東京大学大学院医学系研
究科教授), 松島綱治 (東京大学大学院医学系
研究科教授), 今中雄一 (京都大学大学院医学
研究科教授), 中村裕之 (金沢大学医薬保健研
究域医学系教授), 川崎誠治 (順天堂大学医学
部主任教授), 島田和幸 (小山市市民病院病院長),
坂田隆造 (京都大学大学院医学研究科教授),
別役智子 (慶應義塾大学医学部教授), 田宮葉
奈子 (筑波大学医学医療系教授), 天谷雅行 (慶
應義塾大学病院副病院長), 辻 一郎 (東北大
学大学院医学系研究科教授) の 13 名である。

平成 26 年度第 1 回日本医学会加盟検討委員
会を平成 26 年 10 月 22 日に開催した。今年度
の加盟申請の 22 学会についての審査を慎重に
行い, その結果を日本医学会協議会に提出した。
因みにこの審査は, 日本医学会加盟検討委員会
報告 (平成 23 年 7 月) に示された新たな審査
基準に基づいて行われている。

10. 日本医学会臨床部会運営委員会

日本医学会臨床部会運営委員会の委員は, 10
学会の基本領域学会と 2 学会の Subspecialty
学会から構成している。基本領域学会委員: 小
池和彦, 五十嵐隆, 島田眞路, 武田雅俊, 國土
典宏, 持田譲治, 小西郁生, 石橋達朗, 八木聰
明, 行岡哲男。Subspecialty 学会委員: 田尻久
雄, 西山正彦。

11. 日本医学会臨床部会運営委員会「専門医制に関する委員会」

日本医学会臨床部会運営委員会「専門医制に関する委員会」の委員は、池田康夫（日本専門医機構理事長）、千田彰一（徳島文理大学副学長）、里見 進（東北大学総長）、寺本民生（帝京大学臨床研究センターセンター長）、有賀 徹（昭和大学病院長）、丸山 泉（医療法人社団豊泉会理事長）、横田俊平（国際医療福祉大学熱海病院病院長）、吉村泰典（慶應義塾大学名誉教授）の8名で構成。

12. 日本医学会臨床部会運営委員会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

平成23年度に発足した委員会で、日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員長：福嶋義光（信州大学医学部教授）、委員：鎌谷直之（株式会社ステージン情報解析研究所長）、高田史男（北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝医学教授）、中村清吾（昭和大学医学部乳腺外科教授／大学病院プレストセンター診療科長）、宮地勇人（東海大学医学部基盤診療医学系臨床検査学教授）、横田俊平（国際医療福祉大学熱海病院長）、小西郁生（京科大学大学院産婦人科学教授）の7名で構成。

第8回委員会を、平成26年5月29日に開催した。主な議題は、1. NIPT 施設認定・登録部会、2. わが国に於ける遺伝性乳癌卵巣癌診療体制の構築、3. 遺伝子検査ビジネス関連の動向。

第9回委員会を、平成26年12月4日に開催し、主な議題は、1. NIPT 現状報告と課題、2. 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療体制制度、3. 遺伝医療、“遺伝子検査”ビジネスにまつわる動き等であった。

第10回委員会を、平成27年2月24日に開

催した。主な議題は、1. 遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）総合診療制度について、2. NIPT 現状報告と課題：報告内容の変更について、3. 遺伝子検査ビジネスの現状等であった。

13. 「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会

日本医学会臨床部会運営委員会「遺伝子・健康・社会」検討委員会の部会として平成25年3月に発足し、主に施設の認定、登録を行っている。久具宏司（委員長：東京都立墨東病院産婦人科部長）、澤 倫太郎（日本医科大学女性生殖発達病態学講師）、榊原秀也（横浜市立大学産婦人科准教授）、川目 裕（東北メディカル・バンク機構教授）、高田史男（北里大学大学院医療系研究科臨床遺伝学教授）、丸山英二（神戸大学大学院法学研究科教授）の6名で構成。

14. 日本医学会臨床部会運営委員会「がん領域に関する作業部会」

日本医学会臨床部会運営委員会「がん領域に関する作業部会」を、平成25年に発足した。部会長：門田守人（がん研究会有明病院病院長）、委員：池田康夫（日本専門医機構理事長）、大江裕一郎（日本臨床腫瘍学会理事長）、西山正彦（日本癌治療学会理事長）、野田哲生（日本癌学会理事長）、平岡真寛（日本がん治療認定医機構理事長）の6名で構成。

平成25年度の3回の議論を踏まえて、「がん領域に関する専門医制度」についての提言をまとめ、平成26年5月16日、池田康夫日本専門医機構理事長宛に提出した。

15. 日本医学会利益相反委員会

平成22年度に発足した「日本医学会臨床部会利益相反委員会」を、平成24年度に「日本医学会利益相反委員会」に改称した。委員長：曾根三郎（徳島大学名誉教授／JA高知病院院長）、委員：土岐祐一郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授）、萩原誠久（東京女子医科大学大学院医学研究科主任教授）、朴成和（国立がん研究センター中央病院消化管内科長）、前川平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部教授）、平井昭光（レックスウェル法律特許事務所所長）の6名で構成。

第10回委員会を、平成26年7月3日に開催した。主な議題は、日本医学会利益相反委員会のCOI自己申告書案、日本医学会利益相反会議の開催（アンケート調査、時期、テーマなど）、日本医学会COIマネジメント研修セミナー第一回研修セミナー報告（82学会95名出席、一般参加者113名）、第二回開催、COI教育用スライドキットの作製、COIマネジメントへの相談受け入れと指導、医学系研究の倫理指針改定動向の情報提供、日本製薬工業協会並びに全国医学部長病院長会議との連携等、COI申告書の統一化（例：ICMJE）、日本医学雑誌編集者組織委員会との連携、日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等について意見交換を行った。

第11回委員会を、平成26年11月28日に開催した。主な議題は、アンケート調査結果説明、第5回日本医学会分科会利益相反会議について、日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等であった。

16. 日本医学会分科会利益相反会議

第5回日本医学会分科会利益相反会議は、平

成26年11月28日に開催した。詳細は、日本医学会ホームページに掲載したので、参照いただきたい。

総会に引き続き、シンポジウムは、曾根三郎（徳島大学名誉教授／JA高知病院院長）、土岐祐一郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授）の司会の下、下記のプログラムで開催された。

- ・日本医学会分科会にかかるCOIマネジメントのアンケート結果報告／前川平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部教授）
- ・フォルタレザ改訂ヘルシンキ宣言の基本理念と臨床研究－作業部会の一員として－／畔柳達雄（日本医師会参与／弁護士）
- ・欧米の臨床研究にかかるCOIマネジメントの現状と動向／朴成和（聖マリアンナ医科大学教授）
- ・製薬企業による研究機関への研究支援とその公開の在り方／田中徳雄（日本製薬工業協会常務理事）
- ・臨床研究にかかる企業の薬務提供をどう考えるか／平井昭光（レックスウェル法律特許事務所所長）

17. 日本医学雑誌編集者組織委員会

日本医学雑誌編集者組織委員会は、平成20年に発足した。委員構成は、委員長：北村聖（東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授）、委員：木内貴弘（東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワーク研究センター教授）、北川正路（東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐）、津谷喜一郎（東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学特任教授）、根岸正光（国立情報学研究所名誉教授）、三沢一成（特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会専務理事）、湯浅保仁（東京医科歯科大学名誉教授）、吉岡俊正（東京女子医科大学理事長）の8名である。

第15回日本医学雑誌編集者組織委員会を、平成26年7月23日に開催した。「医学雑誌編集のガイドライン」作成スケジュール、医学雑誌編集のガイドラインの「医学研究のCOIマネジメントに関するガイドライン」への対応、第7回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第7回シンポジウム、APAME 2014(ウランバートル)(8月15日～17日)等について意見交換を行った。

第16回日本医学雑誌編集者組織委員会を平成27年3月3日に開催した。①sponsorの訳語に関する見解(報告)、②「日本医学会 医学雑誌編集ガイドライン」、③日本医学雑誌編集者会議(JAMTE)Webサイトの構成、④研究倫理教育研修会等について、意見交換を行った。

18. 日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)

第7回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第7回シンポジウムは、平成26年11月5日に開催した。詳細は、日本医学会ホームページに掲載したので、参照いただきたい。

総会に引き続き、シンポジウムは、北村 聖(日本医学雑誌編集者組織委員会委員長/東京大学医学教育国際研究センター教授)、湯浅保仁(日本医学雑誌編集者組織委員会委員/東京医科歯科大学名誉教授)の司会の下、下記のプログラムで開催された。

・編集ガイドラインとCOI/津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学特任教授)

・統一投稿規定から"Recommendations"へ: ICMJE2013年改訂/宮崎貴久子(京都大学大学院医学研究科健康情報学助教)、中山健夫(京都大学大学院医学研究科健康情報学教授)

・COPEとそのガイドライン/北村 聖(日本医学雑誌編集者組織委員会委員長/東京大学医学教育国際研究センター教授)

・研究不正行為の実効性ある対応に向けて/安間敏雄[内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション)担当]付参事官(調査・分析担当)

・ミスコンダクトと学会の対応-日本高血圧学会のケース-/榎本宏実(日本高血圧学会理事/大阪大学大学院医学研究科老年・腎臓内科学教授)

・不正論文の元凶:ピペドとIF/榎木英介(近畿大学医学部病理学教室講師)

19. 日本医学会あり方委員会「日本医学会総会のあり方に関する作業部会」

平成25年6月1日に発足した委員会で、委員は池田康夫(日本専門医機構理事長)、岡井 崇(日本医学会幹事/愛育病院病院長)、金澤一郎(日本医学会幹事/国際医療福祉大学大学院長)、齋藤英彦(日本医学会幹事/国立病院機構名古屋医療センター名誉院長)、日本医師会常任理事(1名)の5名の委員で構成。

20. 移植関係学会合同委員会

平成4年4月に発足した移植関係学会は厚労省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。

第32回委員会を平成26年9月19日に厚生労働省9F省議室で開催した。主な議題は

- (1) 脳死した者の身体から摘出された臓器の移植施設について
 - (2) 臓器移植の適応評価の仕組みについて
- 終了後、記者会見を行った。

21. 日本医学会だより

平成元(1989)年度より発行している日本医

学会だより（JAMS News）は、本年度、5 月に No. 51 を、10 月に No. 52 を発行した（綴じ込みの「日本医学会だより」を参照）。

22. 情報発信

平成 12 年 10 月に日本医学会のホームページを開設した。日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ（URL：http://jams.med.

or.jp/）と分科会ホームページをリンクしている。

23. その他

- 1) 「日本医学会分科会一覧」を平成 26 年 8 月に作成、関係各方面に配付した。
- 2) 「平成 27 年日本医学会分科会総会一覧」を平成 26 年 12 月に関係各方面に配付した。